



# 二葉だより

<http://www.sumida.ed.jp/futabasho/>

平成28年9月1日

No. 6

墨田区立二葉小学校

## 「さようなら ジャングラミン」

校長 水谷 光一

1985年(昭和60年)11月24日、二葉小開校80周年の年に設置されたジャングラミン。30年以上の長きに渡り子供たちを見守り、楽しませてきたジャングラミンが撤去されることになりました。二葉小のシンボルとして大切にされてきましたが、遊具下のゴムチップ取り替え工事の際、ジャングラミンの老朽化が確認され、これ以上老朽化が進むと安全性を保てないということがわかりました。遊ぶことで子供たちの体力作りを支えてきた遊具ですが、やむなく撤去することにしました。同じ大きさのものは、現在の基準では設置できないのでかなり小さくなってしまいますのですが、違う遊具を取り付ける予定です。

さて、この夏休みにリオでは、オリンピックの熱い戦いが行われました。たくさんの熱戦があった中で、私が印象的だったのは男子体操団体です。決勝の演技を、手に汗を握り観戦しました。この演技を見ていて、技術面はもちろんですが、メンタルな部分がいかに大事であることを強く感じました。内村選手は優勝後のインタビューで、「みんなが積み重ねた努力の分、メダルがさらに重く感じる。」と語っていました。オリンピックでは、競技だけでなく選手のインタビューからも様々なことが学べます。目標をもつことの大切さ、諦めずに努力する尊さ、仲間や自分を信じることで生まれる強さ、そして孤独に打ち勝つこと、などです。誰もが大きな勇気をもらい、自分自身も「頑張って生きよう。」「途中であきらめないで努力を続けよう。」と思うことができたのではないのでしょうか。刺激をもらえたりオオリンピックでした。

また、今回のオリンピックでの熱い戦いを、いつもと違う気持ちで見ていたのは私だけではないはずです。それは、四年後に東京で行われるオリンピック・パラリンピックを頭のどこかで思い描きながら見ていたということです。水泳の池江璃花子選手をはじめ、多くの選手が東京での活躍を誓っていました。今回惜しくも敗れ、涙をのんだ選手も、東京オリンピックでは、きっとさらなる飛躍を見せてくれることでしょうか。もしかしたら、今ここにいる子供たちの中からも、オリンピック選手が出るかもしれません。

長い夏休みを終え、また、学校が始まりました。校庭にジャングラミンはありませんが、たくさん身体を動かして、元気に遊ぶ姿が見たいです。

さあ9月から二葉小の子供たちが学習や行事のなど、学校生活の中で、互いに支え合い、一人一人の力が発揮されることでしょうか。



**9月は防災・災害月間**です。8月30日から9月5日は防災週間です。学校では、9月を防災月間として位置づけ、9月1日は避難訓練を行います。大正12年9月1日の関東大震災の時、この地域は大変大きな被害に遭いました。台風なども、まだまだ襲来しそうです。大きな災害が来たらどうするのか、家庭でもお子様と話をし、防災意識を高めましょう